

【開催概要】

開催日時：令和4年1月28日（金） 13時00分～15時20分

開催場所：銚田市役所旭総合支所 2階庁議室

【出席者】

委員：樋口委員（委員長）、市毛委員（職務代理）、井川（茂）委員、勝村委員、富田委員
井川（斉）委員、大川委員、渡邊委員

事務局：組合（6名）、エイト日本技術開発（5名）

傍聴者：4名（一部非公開）

1. 開会

委員長より、挨拶を行いました。

事務局より、資料1を用いて、第1回委員会の指摘事項とその対応について説明を行いました。

2. 議事

（委員長）

議事(1)処理方式について、の配布資料2の一部には、今後の事業者選定に影響が出る情報が含まれているため、一部非公開としてよろしいでしょうか。

（各委員）

異議なし。

（委員長）

では、議事(1)処理方式については一部非公開とさせていただきます。

（1）処理方式について

事務局より、資料2（公開部分）を用いて処理方式について説明を行いました。

（議事(1)処理方式については一部非公開のため、傍聴者退室。）

（議事(1)処理方式について終了後、傍聴者入室。）

（2）事業方式について

事務局より、資料3を用いて事業方式について説明を行いました。

【質疑応答】

（委員）

事業方式を絞り込むために、次回以降の委員会ではどのような資料が提出されるのでしょうか。

（事務局）

事業方式については一次選定で絞り込まれた DBO 方式、BTO 方式、公設公営方式それぞれのメーカーの参入意欲を調査しまして、次回以降の委員会で調査結果をご説明できるかと考えています。

(委員長)

現在のところは、このような検討の流れで良いのではないかと思います。

(3) 余熱（エネルギー）利用方針について

事務局より資料 4 を用いて余熱（エネルギー）利用方針について説明を行いました。

【質疑応答】

(委員)

現在の電力会社との協議状況としましては、料金を支払って接続検討まで行ったのでしょうか、それともその前段階の協議ということでしょうか。

(事務局)

接続検討までは行っておらず、事前相談の段階です。今後、料金を支払っての接続検討を行うこととなります。

(委員)

コンバインドの方針の中で、「排水無放流の場合、焼却の余熱による発電は行わず、場内で熱利用する。」とありますが、焼却の余熱はどのように利用するのでしょうか。

(事務局)

メタン発酵槽の加温や、焼却炉内に吹き込む空気の加温など、プラント熱源としての熱利用などを想定しています。

(委員長)

こちらの方針につきましては、次回以降の委員会で詳細まで検討していくのでしょうか。それとも概ねの方針として、今回のご提案程度のものとなるのでしょうか。

(事務局)

今回ご提示した程度の概ねの方向性を決定できればと考えています。

(委員)

建設地の隣にある原子力機構まで鉄塔で電線が来ていますが、その鉄塔から電線を張るといったことなども踏まえて系統連系の工事費を想定しているのでしょうか。

(事務局)

具体的な工事費に関しましては、電力会社に料金を支払って接続検討しなければ回答してもらえませんので、そこまでの検討は現状できていません。

(委員)

かなりの金額がかかるかと思いますが、今後調査するのでしょうか。

(事務局)

先程の接続検討にて、電力会社から回答を頂くこととなります。他の自治体ですと、5億円ほどの工事費がかかった事例もございます。

(委員)

その工事費に関しましては、事業者の負担ではないですね。

(事務局)

自治体の負担となります。

(委員)

資料2と資料4の整合性は取れているのでしょうか。

(委員長)

場外では熱利用はしないという利用方針を見ても、資料2と資料4に関しては、比較的矛盾はないと理解されます。

(委員)

眺望も良いので足湯なども良いのかなと最初は思っていたのですが、需要が少ないという意見も聞いているので仕方ないのかも思います。こちらについてまた詳細を検討する機会はあるのでしょうか。

(委員長)

あくまで方針ですので、応募する事業者がより良いエネルギー利用方法を提案されることも考えられます。方針としてはこのような形でよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし。

3. その他

(事務局)

2月7日の視察につきましては、ご参加の確認とスケジュールの連絡を追ってさせていただきます。なお、視察には管理者および副管理者もご同行されると伺っています。

4. 閉会

以上